

第41回 九州マスタース陸上競技選手権大会 初めての挑戦でつかんだ初優勝の栄冠

ふくちのち・井上憲治館長が「九州マスタース陸上競技選手権大会」に出場し、300mハードルの部で見事初優勝を飾りました。「新たな競技にも挑戦したい」と初めて



挑んだハードルで、昨年度の全国2位に値する好記録を出して初の栄冠をつかんだ井上さん。「来年、福岡県で開かれる全日本マスタースでも優勝目指して励みたい」と力を込めました。

← 長年競技を続けている200mの部でも3位入賞を果たし、2つの賞状とメダルを掲げる井上館長。

金田保育園「敬老会」 祖父母に日頃の感謝を伝えた敬老の日

金田保育園で「敬老会」が行われ、45～85歳までの園児の祖父母26人が参加しました。子どもたち58人は、この日のために練習してきたダンスや和太鼓演奏を披露。終盤には、音楽に合わせて肩のマッサージを行いながら、おじいちゃん・おばあちゃんに「いつまでも元気でいてね」と優しく声をかけていました。



↑ 孫のマッサージに肩のこりと心をほぐされ、終始笑顔を浮かべる祖父母たち。

↓ 稲を刈り終えた後は、田んぼに落ちている稲を一つ残らず回収した児童たち。



共 弁城小と朝鮮初級学校の合同稲刈り授業 に学んだ平和と収穫のありがたさ

朝鮮初級学校の児童と一緒に稲刈りを行うことで「食の大切さと収穫のありがたみ」について学ぶことを目的とした稲刈り授業が9月10日に弁城小裏の田んぼで行われました。地域住民の全面協力のもと安全に行われたこの授業。児童たちは、共に協力しながら立派に成長した稲を丁寧に一本ずつ刈り、汗を流しました。

↓ 「金田ジュニアクラブ全国大会出場記念」を冠す今大会に出場した町の選手たち。



第13回 ウグイスカップ争奪学童軟式野球大会 県内外の40チームが白熱の試合を展開

総勢40チームが出場した町内最大の少年野球大会「ウグイスカップ」が9月19日から4日間の日程で行われ、優勝を目指した熱戦が繰り広げられました。町内からは、方城ヤンキース、赤池ジュニアベアーズ、金田ジュニアクラブが出場。最後まで一丸となり戦った選手たちは、今大会を通して一回り大きく成長していました。

↓ 打撃のお手本として洲鎌さんが放った豪快な1本が運動場向かいのフェンスに直撃し、児童たちは大興奮。



赤池中「防災授業」 命を守るため学んだ災害の恐怖と防災術

NHK北九州放送局の田中秀喜アナウンサーによる「防災授業」が、9月18日に赤池中で行われました。災害時の現場やニュース映像、実体験を基に水害の怖さや命を守る方法を紹介した田中アナウンサー。204人の全校生徒たちへ「積極的に避難を呼びかけ、皆さんの大切な人の命を守りましょう」と訴えました。



↑ 正常性バイアスの危険性や周囲への呼びかけと災害を怖がることの大切さを説明。

↓ YouTube(筑豊流)でアームレスリングの練習風景や今大会などの動画を配信。



第8回 全九州オープンアームレスリング大会 日々の鍛錬で培った剛腕が掴んだ初優勝

筑豊流所属の写真⑤杉虎乃介さん(ライト部門75kg級)と⑥森野亮平さん(レフト部門70kg級)が第8回全九州オープンアームレスリング大会一般部門で優勝しました。九州と山口の各県より、約80人の腕力自慢が集結した今大会。杉選手と森野選手は「次大会では、上級部門での優勝も狙っていききたい」と意気込みました。